

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和5年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住所 佐賀県唐津市京町1783
団体名 特定非営利活動法人ダミアン・シヤホン・ソサエティ
代表者職・氏名 代表理事 志村記世江
電話番号 080-5022-5925

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団体名 : 特定非営利活動法人 ダイアログ・ジャパン・ソサエティ
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

ダイバーシティという言葉が不要なほど、個々人の特性・特徴が尊重され、自然に受け入れられている、インクルーシブ・ソサエティを実現。そういった社会に住む県民の人々は、安心安全な環境の中、人に優しくし、自分を大切にし、健やかで豊かな生活を営んでいる。

- 4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県の子どもたちが、2時間程度のダイアログのプログラム（視聴覚に障害のある人たちとのエンターテイメント交流プログラム）を経験することにより、①本質的なダイバーシティについての学びを得る、②他者への共感性・思いやりの気持ちを涵養すると同時に自己肯定感を向上させることができた。特に、①については、「かわいそうな人」ではなく、「自分とは違った特性をもった面白い人」という観点から、とても興味を持ち、プログラム終了後も質問や会話がいつまで経っても終わらないことが多く、「ダイバーシティとは何か」と言葉で伝えずとも、その本質を体感する機会を提供できた。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
ダイアログ・イン・ザ・ダーク	①子供の情動教育 ②小学生～高校生 ③障害者理解のためのオンラインワークショップの実施（および開発事業）	①年間通じて継続実施 ②唐津市・東京都	4,200,000	4,102,436
ダイアログ・イン・サイレンス	①子供の情動教育 ②小学生～高校生 ③障害者理解のためのオンラインワークショップの実施（および開発事業）	①1年に6回程度実施 ②唐津市・東京都	1,000,000	1,000,000
計			5,200,000	5,102,436

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		9,871,472
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	4,400,000
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	4,400,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	5,471,472

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		4,769,036
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	4,769,036
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	0
	返礼品等の調達に係る費用	
	返礼品等の送付に係る費用	
	広報に係る費用	
	事務に係る費用	

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	5,102,436
-------------------------------------	------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://didsaga.dialogue.or.jp/whats-did/>